

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第2部門第4区分
【発行日】令和7年6月16日(2025.6.16)

【国際公開番号】WO2024/047806
【出願番号】特願2024-543701(P2024-543701)
【国際特許分類】
 B 3 2 B 27/00(2006.01)
【FI】
 B 3 2 B 27/00 1 0 1

10

【手続補正書】
【提出日】令和5年9月7日(2023.9.7)
【手続補正1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】

【請求項1】

20

風防用の透明積層体であって、樹脂基板上にアルコキシシランをベースとしたシロキサン樹脂からなるシリコン系樹脂層を形成し、
前記シリコン系樹脂層の表面にオルガノポリシラザンのパーヒドロポリシラザンに対する固形分比率(O/P比)が1wt%以上25wt%以下に混合した混合ポリシラザンを塗布して硬化させた混合ポリシラザン層を形成し、
前記混合ポリシラザン層の上から波長200nm以下の真空紫外線を照射することにより、前記混合ポリシラザン層を通して前記シリコン系樹脂層の一部を二酸化ケイ素の改質膜に改質し、二酸化ケイ素の改質膜を前記混合ポリシラザン層による二酸化ケイ素膜の膜厚と前記シリコン系樹脂層から改質した二酸化ケイ素膜の膜厚とで構成することを特徴とする透明積層体の製造方法。

30

【請求項2】

請求項1の透明積層体の製造方法において、混合ポリシラザン層の膜厚を11nm以上565nm未満とすることを特徴とした透明積層体の製造方法。

【請求項3】

請求項1の透明積層体の製造方法において、前記真空紫外線の照射量は、2J/cm²以上8J/cm²以下であることを特徴とした透明積層体の製造方法。

40

50